Raspberry Pi 4B/3B/3B+/2B

Ras p-On（ラズ・ピー・オン）

電源管理とRTCのアドオンモジュール

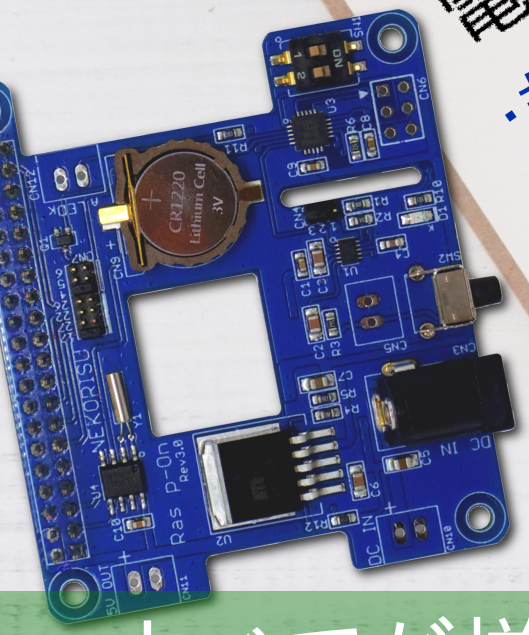
ラズパイで不便なこと

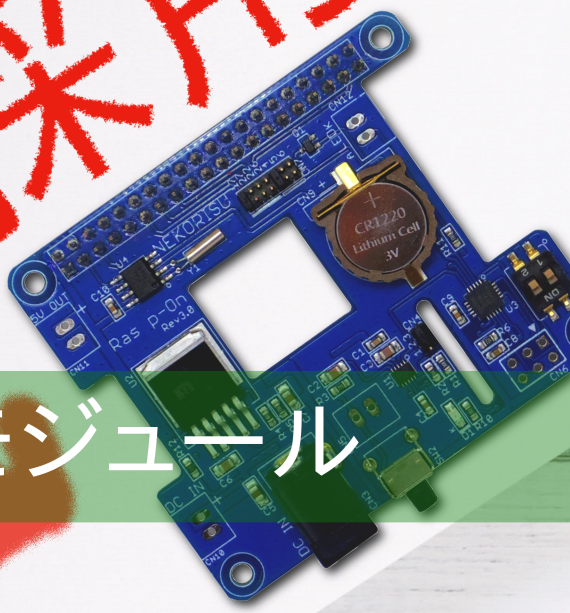
電源スイッチがない!?
- 電源スイッチでON／OFFしたい
- シャットダウンで電源OFFしたい
- 安全に電源供給をカットしたい

電源アダプタがない!?
- もっと自由に電源アダプタを選びたい
- DCジャックで接続したい

RTCがない!?
- リアルタイムクロックが欲しい

採用





すべてが揃うアドオンモジュール

NEKORISU

Raspberry Pi の電源をオン／オフ
Ras p-On

電源管理／ RTC（リアルタイムクロック）

特徴

■タクトスイッチによる電源供給オン
■シャットダウンの完了を確認してからの安全な電源供給カット
■電源供給カット時、GPIO の 5V、3.3V、USB ポートへの給電も完全にカット
■タクトスイッチの押下によるシャットダウン通知
■タクトスイッチの長押しによる強制終了
■AC アダプタへの通電により自動的に電源オンするモードをサポート
■広い入力電源電圧をサポートしたレギュレータを搭載（6V ～ 25V）
■電圧 5.1V、最大出力電流 3A で Raspberry Pi に余裕を持って電力を供給
■DC 入力用ジャック（外径 5.5mm、内径 2.1mm）
■外部電源出力ポートを用意
LCD パネル等の周辺装置に電源供給可能（合計3 A まで）
■RTC（リアルタイムクロック）を搭載（DS1307）
コイン型リチウム電池（CR1220）でバックアップ

概要

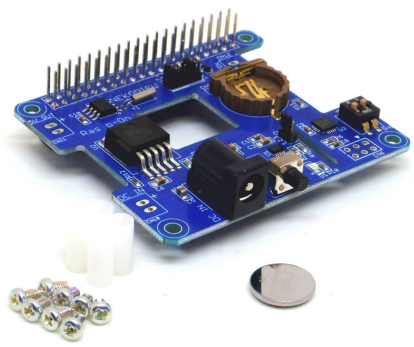
Raspberry Pi は今や、IoT 機器の試作、開発にはなくてはならない存在に成長しました。ところが、本格的に利用しようとすると、次のような不便を感じることがあります。

① 電源スイッチがない。
② 電源アダプタに自由度がない。
③ RTC が搭載されていない。

電源スイッチがない為、Raspberry Pi の起動は、AC アダプタの挿抜で行わなければなりません。シャットダウンしても、CPU が HALT しただけなので給電されたままとなり、周辺回路などをオフすることができません。そこで、スイッチ操作で電源の給電オン、給電カットを安全に行える回路を用意しました。また、RaspberryPi の推奨 AC アダプタは 5.1V/2.5A で、しかも接続が USB コネクタです。実質、この条件に適合する AC アダプタは、ほぼ純正品のみとなります。そこで、レギュレータ回路を搭載し、15W を供給できる電源であれば、市販の様々な AC アダプタやバッテリが利用できるようにしました。実用運用において致命的な問題となる RTC もアドオンボードに搭載しました。

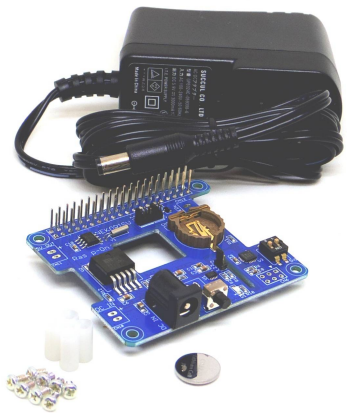
商品構成

基本セット
RPO-STD-01-A　¥3,700（税抜）



本体＋スペーサー＋コイン電池

電源アダプタセット
RPO-BAT-01-A　¥5,200（税抜）



本体＋スペーサー＋ AC アダプタ＋コイン電池

開発・製造
NEKORISU
株式会社 NEKORISU
〒 790-0053
愛媛県松山市竹原2丁目16−2　アルファステイツ竹原8 F
TEL　050-8806-9823
Web　http://www.nekorisu-embd.com
Mail　nekorisu@nekorisu.com

販売・代理店